

理念	子どもの人格を尊重し、子ども一人ひとりに応じた専門療育を行い「将来にわたって、より健やかに生きていく力」を高め「豊かな人間性」を育てる。		
方針	地域における中核的専門機関として、子ども一人ひとりに応じた適切な早期療育及び家族支援を継続的かつ総合的に行えるよう、より一層充実した体制を整え、福祉の向上に貢献する。		
営業時間	9:00~13:00	送迎の有無	あり(要相談)

①健康・生活

- ・室内を構造化することで来所時の片付けや身の回りのことなどを分かりやすく学べるようにする。
- ・視覚支援等スケジュールを提示し理解して生活できるように環境設定を行う。
- ・衣類の着脱、排泄、食事、身なりを整える等、生活を営む上で必要となる基本的な技能を視覚情報(実演、イラスト、写真、手順書)等利用しながらの獲得できるよう支援する。



②運動・感覚

- ・運動遊びや日常生活、様々な活動を経験する中で身体の使い方や手先の操作などを学んでいけるよう促していく。
- ・感覚や認知の特性(感覚過敏や鈍麻)を踏まえ偏りに対する環境調整等の提案や支援を行う。
- ・子どもの発達段階や特性に配慮した、視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用した活動や遊びを行う。



③認知・行動

- ・物の機能や属性、形や色、数などの概念の習得のため、子ども一人ひとりの発達段階に応じて具体的な対象物を用いた支援を行う。
- ・視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用し、認知機能の発達を促すための製作活動や感覚運動遊びを行う。
- ・イラストや写真、行動の見本を示すことで、情報を適切に処理し自ら理解して行動できるよう支援する。



本人支援

④言語・コミュニケーション

- ・子どもの発達段階に応じて、言語だけでなく指さし、身振り、サイン、絵カード等、多様なコミュニケーション手段を活用し、自分の思いが他者に伝わった機会を積み重ねられるよう支援する。
- ・具体的な事物や体験を結びつけることにより体系的な言語の習得や自発的な発声を促すよう支援する。
- ・人との相互作用を通して共同注意の獲得を含めた、コミュニケーション能力の向上を図るための支援を行う。



⑤人間関係・社会性

- ・人との関係を意識し、子どもが基本的な信頼関係を持つことができるように、環境や身近な人に対する安心感を基盤として安定した関係を築き、自分に対する信頼感も育めるよう支援する。
- ・遊びを通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを促していく。
- ・感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びの環境を整え、見立て遊びやごっこ遊びの象徴あそびを通して社会性の発達を支援する。
- ・集団に参加するための手順やルールを理解し遊びや集団活動に参加できるよう、環境調整やかかわり方の提案を行う。互いの存在を認め合いながら仲間づくりにつながるよう支援する。



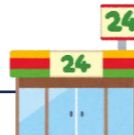
家族支援

- ・個人面談
- ・グループ懇談
- ・動画視聴による療育の振り返り
- ・ペアレントメンター相談会



地域支援・地域連携

- ・幼稚園、保育園、地域の事業所、学校への施設支援
- ・サービス担当者会議への参加



移行支援

- ・入学、入園前後の引継ぎ
- ・他事業所への利用児の引継ぎ



職員の質の向上

- ・法人内の事業所での研修会への参加
- ・医師や相談支援専門員と連携したカンファレンス開催
- ・虐待防止や身体拘束に関する研修会への参加
- ・BCP、安全計画に則した研修会への参加
- ・外部の研修会への参加

